

お祭りでんでん館の情報や、八代市のお祭りや民俗芸能の魅力を発信！

DENDEN

2023
2
February
No.14

Take
Free



八代妙見祭の人気者！ - 亀蛇(がめ) -

お祭りでんでん館にて展示中 3/11 まで



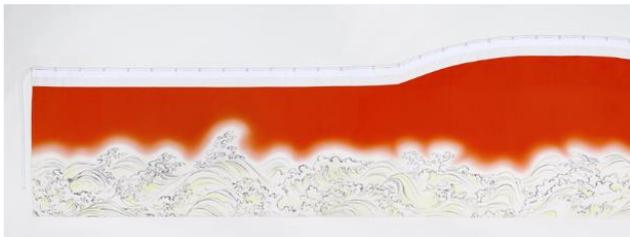
でんでん館に見学に来る子供たちの中で一番人気は亀蛇(がめ)ね。妙見祭の時、砥崎の河原でのパフォーマンスを見てみるとその理由がよくわかるわ。お客さんの中に突撃したり、ぐるぐる回りすぎて倒れたりと見てて楽しいものね。

ところで、亀蛇って亀と蛇が合体した想像上の生き物だというのはみんな知ってるわよね。じゃあ、何で妙見さんが海を渡ってきた時の乗り物だと言われているのか知ってる？ 妙見さんって実は北極星なの。昔の人たちは北の空でひときわ輝く北極星を特別な星と考えていて、それを神さまにしたのが妙見さんなのよ。そして亀蛇は、北の方角の守護神「玄武」なの。それで亀蛇は妙見さんの乗り物だっという伝説が作られたの。

妙見祭では亀蛇の中に入る人は5人。そのうち1人が首を伸ばしたり縮めたりしているから甲羅を持つのは4人なの。亀蛇はとっても重たいし、動きが激しいから大変でしょ？ だから途中で交代しながら頑張っているのよ。



甲羅の下に下がっている幕は、亀蛇が海を渡ってきたことを表す波模様の幕なのよ。昨年3月に新しく作り直されたわ。今ではこんな波の絵を描ける人があまりいないだって。ぜひじっくり見てね。



↑ 新調された亀蛇波模様の幕(腰巻) 部分



お祭りでんでん館にて展示中 3/11まで



今月の水引幕 2/14(火)~3/5(日)

黒縹子地錨九曜に二引散し模様繡水引幕



1月から4月までは笠鉾猩々の水引幕を紹介するぞ。

この幕は、上の方が無地で下の方に刺繍がされているのが特徴じゃ。上にもう一枚丈が短めの水引幕を重ねて使うんじゃよ。他の笠鉾は、刺繍の幕の下に赤色の幕を使っとるが、笠鉾猩々は赤い幕の代わりに刺繍の幕を使っているんじゃ。

刺繍の様子は、汽船の洋式錨と八代神社の神紋じゃよ。刺繍の幕を二段にして使うとは実にぜいたくじゃ。



参加者募集！申込2月1日～

民俗芸能に親しむ講演会・公演会
～植柳盆踊りと棒踊り～

- と き： 2月19日(日) 10時～12時
- 場 所：お祭りでんでん館 会議棟
- 定 員：30名
- 申し込み：お祭りでんでん館 ☎0965-37-8737

戦国時代から海上交通の拠点として栄えていた植柳地区。今回の講演会では、この植柳地区に伝承される植柳盆踊りと棒踊りを紹介します。八代市内では各地でお盆の時期に盆踊りが行われているにも関わらず、どうして植柳盆踊りが国選択や県指定になったのかその理由と魅力についてご紹介します。講演会の後には植柳盆踊りの記録映像をご覧いただき、実際に植柳盆踊り保存会のご指導のもと盆踊りの体験を行います。ぜひ植柳盆踊りを踊って体感してください。

2



消防訓練を実施します

2月16日

お祭りでんでん館では、年2回消防訓練を行っています。お客様の避難誘導訓練も行いますので、ご来館のお客様におかれましては、避難訓練にご協力ください。

と き…2月16日(木) 9時から10時の間



↑ 「笠鉾さげもん」
笠鉾に見立てたさげもん。
でんでん館スタッフが、フェルトで手作りしました。

1



お雛祭りに参加します

やっしろうの

でんでん館からのお知らせ

毎年開催される「やっしろうのお雛祭り」。お祭りでんでん館もスタンプラリー設置場所＆俳句応募箱設置場所・お雛飾り展示場所として参加します！

スタンプを3個以上集めると、豪華景品が当たる抽選に応募できます。お祭りでんでん館周辺には、博物館・松浜軒・澤井家など、スタンプラリー設置場所が多数。激熱スポットとなっています。「笠鉾さげもん」も期間限定展示しますので、ぜひお越しください。

